



二年三組 高橋 菜摘

『ザリガニとくっしょい』

わたしたち二年三組は、教室でアメリカザリガニを飼っています。一年生の一学期に先生が教室にザリガニをつれてきました。みんなで話し合っ  
て、クラスでザリガニをかい始めました。

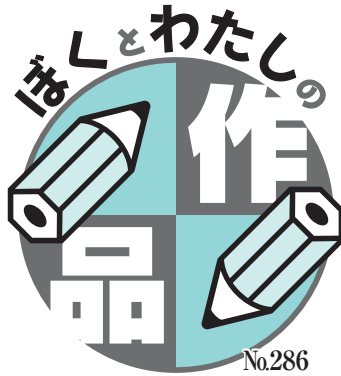


二年三組 田中 崇晴

『ザリガニのしょうかい』

ザリガニの体はえびみたいで、赤と黒のまざった色のかたいカラをつけています。ハサミはのこぎりみたいで、強くはさまれたらとてもいたい  
です。足は八本。いつもは石などのかげにかくれたり歩き回ったりしています。でも、おどかしたり、手を近づけたらすると、大きなはさみをもち上げておこり出します。に  
げるのも上手で、ハサミを前

美南ガ丘小学校



り、さわったり、水そうから出してさんぽやけんかをさせたりしてあそびました。一年生の二学期から、クラス  
のザリガニとはべつに、自分の水そうで一人一人二ひきずつザリガニをかい始めました。えさをあげたり、水そうをそうじしたりするの  
は、すべて自分でやります。そうじは、水がくさくなつて大変ですが、ザリガニのためにがんば



にのばして体を丸めて、シユツとすばやく後ろへいきます。えさを食べるときは、ハサミや足を上手に使ってモグモグ食べます。おなか  
がすきすぎると、赤ちゃんや子どもともぐいします。だつびをします。赤ちゃんも体が大きくなると、小さくなつたカラをぬぎま  
す。何回かだつびしてだんだん大



No.286

ばつてやりました。赤ちゃんザリガニがうまれた友だちもいました。二年生になって、先生がまたたくさんザリガニをとってきてくれました。二学期にはクラスの友だちや親子でザリガニ二つりを楽しみました。一、二年生やしまい学級の五年生にも楽しんでもらいました。また、ザリガニの思い出を絵にかいたり、しおりを作ったりしました。

つくこんしてしばらくすると、メスのザリガニはまっ黒いたまごを、おなか  
かにびつりつけることがありますが、やがて、たまごからかわいい赤ちゃんが  
出てきます。小さくてもちゃんとザリガニの形をしていて、えさも自分  
でとって食べ

数々！ あなたのサークル

【こもろ五行歌の会】



五行歌は和歌と古代歌謡に基づいて、新しく創られた新形式の短詩で、草壁焔太(80)五行歌の会主宰が19歳の時に着想されたものです。「五行歌の会」は、平成6年4月に発足。平成28年現在、全国に150以上の歌会や講座があり、歌会参加者は5千人を超えています。「こもろ五行歌の会」は、平成14年9月に発足。現在18名の会員が、月1回の歌会を楽しんでいます。思ったこと感じたことを5行(例外として4行、6行可)に書く以外、季語や字数の制限はありません。

平成26年の「五行歌全国大会in小諸」には北海道から九州まで170名近い五行歌人が小諸に足を運んでくださいました。同じ思いを持つたくさんの方に会えたことは、こもろ会員の一生の思い出(宝)になっています。

代表 田沼 まち子

【あやま蘭友会】



洋蘭は咲かせるのが難しいし、温室もないから無理...と思つていませんか? いえ、工夫次第で立派に咲く花々がたくさんあります。

どんなに小さな花でも自分で育てて咲かせた花を見ると嬉しくて誰かに自慢したくもなりますよね。そんな思いをみんなで分け合いながら、少しでもレベルアップを目指そうと、月例会では持ち寄った花々を中心に、楽しく学びあっています。

また、年2回の洋蘭園研修バスツアーでは、新しい蘭との出会いと、専門家の知識を教わる楽しみもあります。現在会員は20名。男女半々の賑やかな集まりです。洋蘭に興味のある方はぜひお仲間になってください。お待ちしております。

事務局 高山 ふさ子

